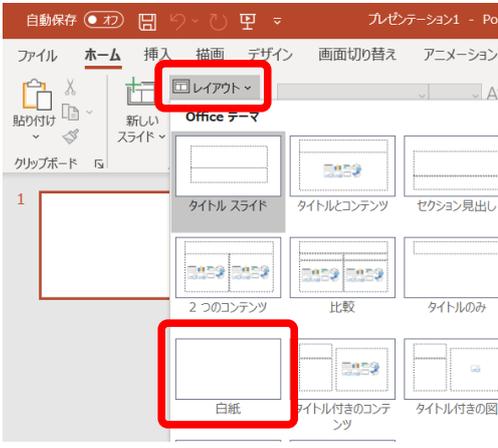
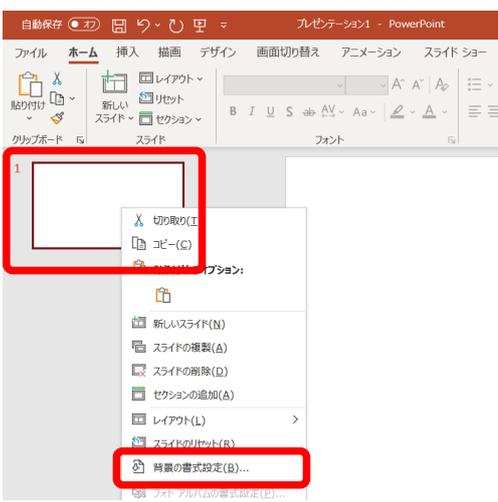
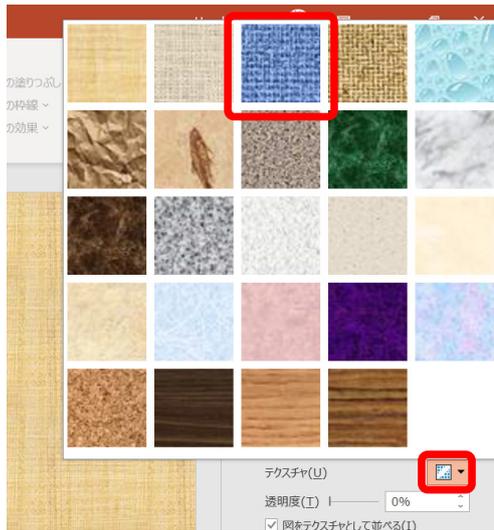


このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

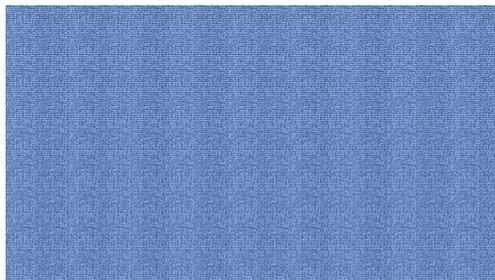
<p>1</p>		<p>背景にする布の素材を用意します。 ネット等で探してもらえばいいですが、ここでは、 テキストチャを使ってみます。</p> <p>「レイアウト」→「白紙」。</p>
<p>2</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルを右クリックし、 「背景の書式設定」。</p>
<p>3</p>		<p>画面右に「背景の書式設定」ウィンドウが開くので、 「塗りつぶし (図またはテキストチャ)」をオン。</p>

4



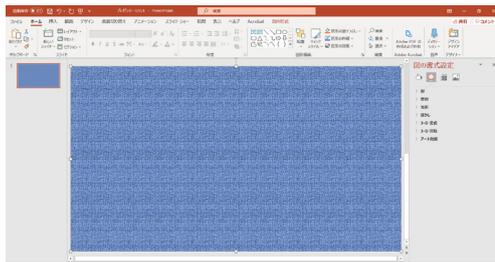
「テクスチャ」→「デニム」。

5



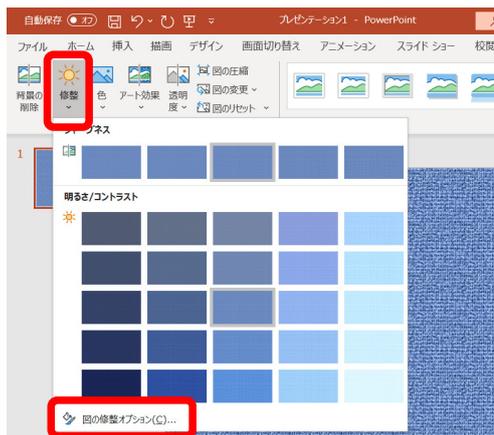
濃い目の色にします。
「F5」キーでスライドショー。
「Prt Sc」キーでスクリーンショット。
「Esc」キーでスライドショー終了。

6



「Ctrl」+「V」キーで、貼り付け。

7



画像をダブルクリックし、
「修正」→「図の修正オプション」。

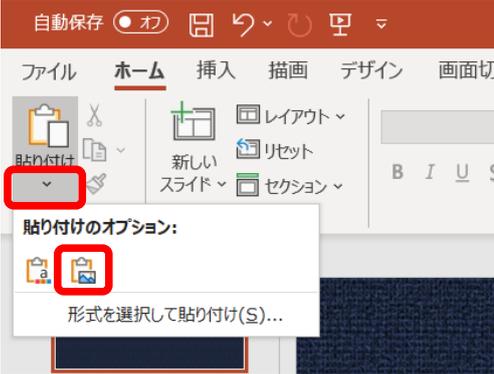
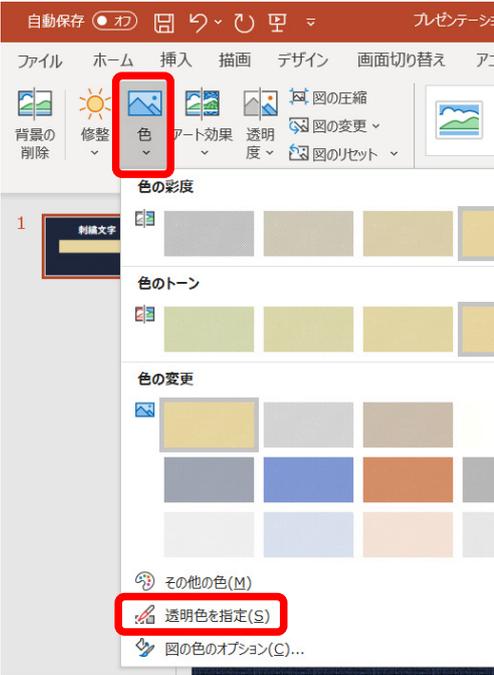
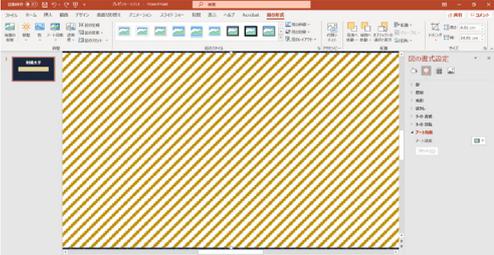
8

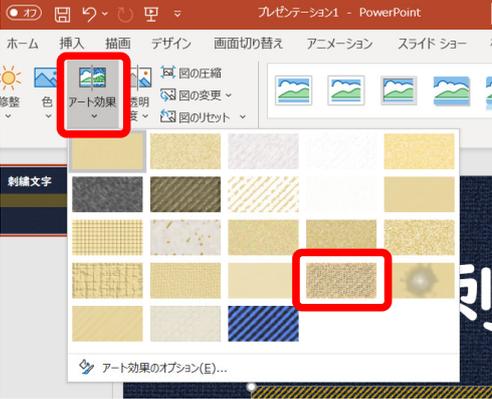


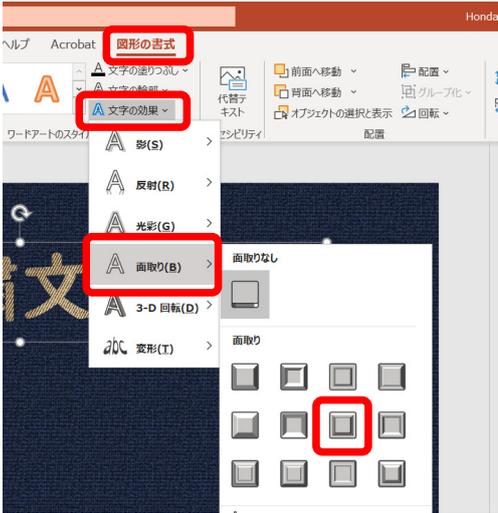
画面右の「図の書式設定」から、
「明るさ」→「-60%」。
「コントラスト」→「10%」。

背景ができました。

9		<p>「挿入」→「テキストボックス」で、テキストボックスを作り、テキストを入力。 色やサイズ、配置を調整。</p>
10		<p>「Ctrl」+「D」キーで、複製。</p>
11		<p>「図形の書式設定」の  をクリック。 「塗りつぶし (パターン)」から  を選択。</p>
12		<p>刺繍の色を決めます。 「前景」の「色」から、ここでは適当に金色。</p>
13		<p>文字を削除。</p>

<p>14</p>		<p>テキストボックスを選択し、 「Ctrl」+「X」で、切り取り。 「貼り付け」→貼り付けのオプション「図」。</p>
<p>15</p>		<p>見た目は同じですが、テキストボックスだった図形が、画像になりました。</p> <p>画像になるとアート効果が使えるようになります。</p>
<p>16</p>		<p>画像をダブルクリックし、 「色」→「透明色を指定」。</p>
<p>17</p>		<p>「Ctrl」を押しながら、マウスのホイールを回転させ、画面を拡大。 画像の白い部分をどこでもいいのでクリック。</p>

<p>18</p>		<p>白い部分が透過されます。</p>
<p>19</p>		<p>「アート効果」→「パステル：滑らか」。</p>
<p>20</p>		<p>「Ctrl」＋「X」で、切り取り。 最初のテキストボックスを選択。</p>
<p>21</p>		<p>「文字のオプション」→ A →「文字の塗りつぶし」 →「塗りつぶし (図またはテクスチャ)」。 「クリップボード」。</p>

<p>22</p>		<p>「図形の書式」→「文字の効果」→「面取り」→ 「浮き上がり」。</p>
<p>23</p>		<p>刺繍文字の完成です。</p>
<p>補 足</p>		<p>布や刺繍の色を変えて作ってみよう。</p>